

2023年度第3回阪神競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 三木特別

三木（みき）は、兵庫県南部の市。室町時代には別所氏の城下町として栄えた。江戸時代から金物業が発達し、大工道具や園芸用具などの製造が盛ん。また、酒米である山田錦の主産地としても有名。なお、同市は馬事施設やキャンプ場等を併設する三木ホースランドパークの所在地でもある。

○ 小豆島特別

小豆島（しょうどしま）は、高松市の沖合に浮かぶ島。瀬戸内海では淡路島に次いで大きい。日本で初めてオリーブの栽培に成功し、別名「オリーブ・アイランド」とも呼ばれる。小説『二十四の瞳』の作者壺井栄の出身地としても知られている。

○ 農林水産省賞典鳴尾記念（GⅢ）

本競走は、1951年に創設された重賞競走。創設当初は春と秋の年2回実施されていたが、1954年から現行の年1回となった。2012年より夏季競馬の中距離競走の充実を図るため、実施時期を12月から6月に移し、距離も2000mに変更されている。

競走名は、1907年に関西競馬倶楽部が兵庫県武庫郡鳴尾村に建設した「鳴尾競馬場」に由来する。1943年、太平洋戦争の激化に伴い海軍に徴用されたことで、同競馬場は幕を下ろしたが、現在も武庫川女子大学の浜甲子園キャンパス内にスタンドの一部が残っている。

<第2日>

○ 加古川特別

加古川（かこがわ）は、兵庫県中南部を流れ、播磨灘に注ぐ川。延長96km。また、兵庫県南部加古川の下流にある市。同市は、日本有数の靴下の生産地として知られている。

○ 岸和田ステーキス

岸和田（きしわだ）は、大阪府にある市。岸和田城の城下町として栄えた。岸和田城は、本丸と二の丸を重ねた形が機（はた）のたて糸を巻く「ちきり」に似ていることから、別名「千亀利（ちきり）城」と呼ばれる。また、江戸中期にはじまり、およそ300年の歴史がある岸和田だんじり祭が有名。

○ 松風月ステーキス

松風月（まつかぜつき）は、陰暦 6 月の異称。風を待つ（松）月の意。

<第 3 日>

○ 甲武特別

甲武（こうぶ）は、兵庫県六甲山地の前山のひとつで、阪神競馬場からも眺望できる甲山（標高 309m）の「甲」と、その麓を流れる武庫川の「武」を合成した名称。武庫川を挟んで西宮市と尼崎市を結ぶ甲武橋がある。

○ 洲本特別

洲本（すもと）は、兵庫県淡路島中央部の市。名は、洲本川河口に発達した砂州の基部に位置したことに由来する。中心市街は、江戸時代初期以降に蜂須賀藩の家老稲田氏 6 万石の城下町兼漁港として栄えた。水産物加工が盛んで、イカナゴの釘煮、ちりめんじゃこなどが名産品。

○ 水無月ステーキス

水無月（みなづき）は、陰暦 6 月の異称。この時期は、青葉の茂る季節であることから「青水無月」とも呼ばれる。

<第 4 日>

○ 三田特別

三田（さんだ）は、兵庫県南東部の三田盆地にある市。名は、名刹・金心寺の弥勒菩薩像の胎内に「当地一帯を松山の庄と号す。これを金心寺恩田・悲田・敬田の三福田を以って三田と改む」と記されていたことに由来する。1980 年代以降のニュータウン開発を軸に発展している。

○ 安芸ステーキス

安芸（あき）は、山陽道にあった旧国名のひとつで、現在の広島県西半分にあたる。古くは「阿岐」と書いた。日本三景のひとつである「安芸の宮島」が有名。

○ 三宮ステーキス

三宮（さんのみや）は、神戸市中央区の地名。神戸市随一の繁華街として有名。名は、三宮神社（生田神社の三の宮）に由来する。開国以降、外国人が多く居住していたことで知られ、現在でも北部の北野異人館街には異国情緒溢れる町並みが広がっている。

<第5日>

○ 京橋特別

京橋（きょうばし）は、寝屋川に架かる大阪市中央区と都島区を結ぶ橋。また、その付近一帯のこと。京橋駅はJR・京阪電鉄・地下鉄が接続するターミナル駅となっており、近隣の再開発地域は大阪ビジネスパークと呼ばれ、超高層ビルや文化施設が建ち並んでいる。

○ 垂水ステーキス

垂水（たるみ）は、神戸市南西部の区。名は、垂れ水（滝）の滴りが尽きなかった場所があったことに由来し、万葉集では志貴皇子が「石ばしる垂水の上のさわらびの萌え出づる春になりけるかも」と詠んでいる。また、海苔の生産地としても有名。

○ サマーマイルシリーズ米子ステーキス（L）

全4戦で実施されるサマーマイルシリーズの第1戦。

米子（よなご）は、鳥取県西部の市。農業、漁業が盛んで、白ねぎ・二十世紀梨・岩ガキ・松葉ガニなど特産品が豊富。

なお、同市にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ米子がある。

<第6日>

○ 皆生特別

皆生（かいけ）は、鳥取県米子市の温泉地。同地域は、1981年に日本初のトライアスロン大会が開催されたことから、日本におけるトライアスロンの聖地としても知られる

○ 灘ステーキス

灘（なだ）は、兵庫県南東部、武庫川から旧生田川にかけての大阪湾岸地域の総称。摂津灘とも呼ばれる。西宮市から神戸市にまたがっており、1840年に宮水と呼ばれる良質な硬水が発見されて以来、酒造地として知られるようになった。

○ マーメイドステーキス

本競走は、1996年に創設された牝馬限定の重賞競走。創設時より3歳以上、距離2000mで実施されている。当初は別定重量戦で行われていたが、2006年よりハンデキャップ戦となった。

マーメイド（Mermaid）は、上半身が人で下半身が魚の伝説上の生き物である「人魚」を意味する英語。

<第7日>

○ 鷹取特別

鷹取（たかとり）は、神戸市須磨区の地名。大阪湾に注ぐ妙法寺川下流東岸を占めている。大正初期、鷹取駅北側の池田町に機関車修理工場が建設されたことで発展した。現在は、跡地が住宅地として整備されている。

○ ストークステークス

ストーク（Stork）は、コウノトリの英語名。全長 1mほどで、ツルに似た外観を持つ。首と胴体は白色で、風切り羽は黒色。くちばしは黒色で長く太く、赤色の長い脚を持つ。アジアに分布しているが、現在は絶滅の危機に瀕している。兵庫県の県鳥であり、同県豊岡市にある県立コウノトリの郷公園において保護・増殖が行われている。

○ 天保山ステークス

天保山（てんぼうざん）は、大阪市港区にある標高 4.5mの人工山。1831年（天保2年）におこなわれた安治川河口浚渫工事の際、土砂を盛り上げて築かれた。現在は大阪市ベイエリアの一角として発展している。

<第8日>

○ 城崎特別

城崎（きのさき）は、兵庫県豊岡市にある山陰海岸に面した温泉地。志賀直哉の小説『城の崎にて』の舞台にもなった。周辺には温泉寺や玄武洞などの名勝がある。

○ 舞子特別

舞子（まいこ）は、神戸市垂水区の地名。一帯は明石海峡に臨む浜辺で、明石海峡大橋で結ばれている淡路島を一望できる。古来より保養地として知られており、夏には多くの海水浴客が訪れる。

○ 花のみちステークス

花のみちは、阪急宝塚駅から宝塚大劇場に通じ、かつて武庫川の堤防であった中央部を利用している遊歩道。沿道は桜をはじめとする季節の花々にあふれ、宝塚を象徴する道として宝塚歌劇ファンや宝塚市民に親しまれている。

○ 宝塚記念（G I）

本競走は、1960年に創設された重賞競走。当初は3歳以上1800mで実施されていたが、翌1961年に2000mとなり、1966年から現行の2200mとなった。1968年以降は4歳以上となったが、1987年に再び3歳馬にも出走資格が与えられた。年末に中山競馬場で行われる『有馬記念』と同様、ファン投票によって出走馬が選定され、春のG I戦線を締めくくる一戦として定着している。

宝塚（たからづか）は、兵庫県南東部の市。同市は阪神競馬場の所在地でもある。

○ リボン賞

リボン（Ribbon）は、紐状の織物のこと。勲章として用いられる他、衣服・帽子・頭髪や贈り物の装飾として結んだ形で使われることが多く、本競走は上半期の締めくくりとして第3回阪神競馬最終日最終競走に実施される。